

## 授業科目 機能解剖学II

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	スポ
榎木 聖也		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 人体を構成している解剖学的要素のうち、特に運動器とそれに関連する器官に注目し、スポーツ動作への関与やスポーツ傷害との関連、アスレティックリハビリテーションの立案・実行等に資する知識を得る。					
【学習目標・行動目標：SBO】 本講義では、アスレティックトレーナーが行う選手のスポーツ動作の運動学的分析やスポーツ傷害の評価・原因の特定、アスレティックリハビリテーションなど、トレーナー活動に最低限必要な人体の構造と機能について理解を深めることを学習目標とする。特に、骨・筋・靭帯・関節などのいわゆる運動器とそれらの神経支配、身体活動を関連づけて学習し理解することをねらいとする。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	体幹の基礎解剖と運動（2）頸部の運動器と神経支配				
2	体幹の基礎解剖と運動（3）背部の基礎解剖と運動				
3	体幹の基礎解剖と運動（4）背部の運動器と神経支配				
4	体幹の基礎解剖と運動（5）腰部の基礎解剖と運動				
5	体幹の基礎解剖と運動（6）腰部の運動器と神経支配				
6	下肢の基礎解剖と運動（1）足指・足部の基礎解剖と運動				
7	下肢の基礎解剖と運動（2）足指・足部の運動器と神経支配				
8	下肢の基礎解剖と運動（3）下腿・足関節の基礎解剖と運動1				
9	下肢の基礎解剖と運動（4）下腿・足関節の基礎解剖と運動2				
10	下肢の基礎解剖と運動（5）下腿・足関節の運動器と神経支配				
11	下肢の基礎解剖と運動（6）膝関節の基礎解剖と運動1				
12	下肢の基礎解剖と運動（7）膝関節の基礎解剖と運動2				
13	下肢の基礎解剖と運動（8）膝関節の運動器と神経支配				
14	下肢の基礎解剖と運動（9）大腿・股関節の基礎解剖と運動				
15	下肢の基礎解剖と運動（10）大腿・股関節の運動器と神経支配				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト1～9	(財)日本体育協会	(財)日本体育協会	
参考書		基礎運動学	中村隆一 他	医歯薬出版(株)	6,800円
その他の資料					
【評価方法】 定期試験を実施		【履修上の留意点】 機能解剖学Iとセットで履修すること。			